

第7次大田区地域福祉活動計画の進行管理について

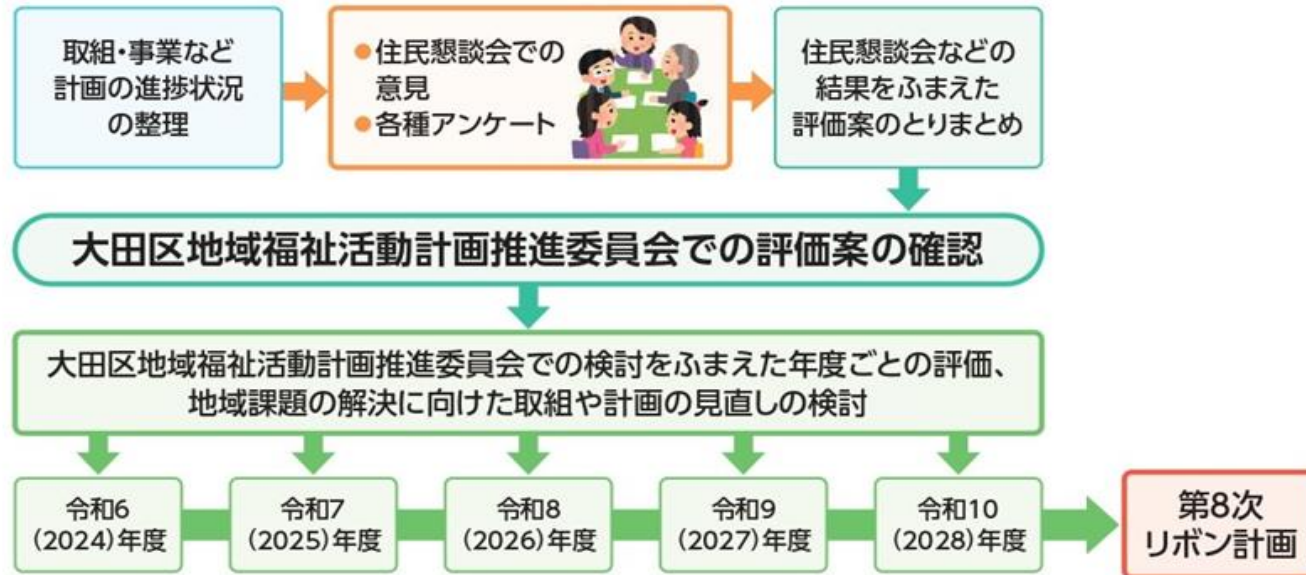
～目指す「5年後の地域の姿」に近づくために～

1. 計画の評価と進行管理

この計画の評価にあたっては、計画期間中、毎年度実施する住民懇談会の中で、参加者より意見をいただくほか、大田区社協が実施する各種事業でのアンケートの結果を活用します。

また、住民懇談会での意見をふまえた計画の進行管理、地域課題の解決に向けた取組や計画の見直しの検討は、「大田区地域福祉活動計画推進委員会」にて行います。

【計画の評価と進行管理の流れ】



(1) 取組・事業など計画の進捗状況の整理 (客観的な視点での進捗状況確認)

「第7次地域福祉活動計画進行管理表」により、5年後に向けてみんなと一緒にできることの中の「**大田区社会福祉協議会と一緒に取り組むこと**」「**大田区社会福祉協議会だからこそできること**」について

○いつ頃

○何を

○どのように実施するか

取組ごとに記載し、この内容に基づき進捗状況を整理します。

(2) 住民懇談会や大田区社協が実施する事業 での各種アンケートなどによる意見収集

(住民等の主観的な視点から計画の進捗状況を把握する)

5年後に向けてみんなと一緒にできることの中の「住民だからこそできること」「地域活動団体、社会福祉法人・福祉事業者や企業だからこそできること」などを参考に、

○それぞれの取組に対する「○○だからこそできること」への意見収集を行います。

※自分ごととしてこの計画を捉え、具体的にどんなことに取り組むか等

○計画の認知度調査（この計画を知っているか、どこで知ったか等）も合わせて
行います。

< 想定される意見収集対象の例 >

- ・ 法人協 ・ 自治会・町会 ・ 民協 ・ 地域福祉活動支援事業による助成団体・ほほえみごはん利用者
- ・ 大田区社協主催の講座や研修受講者・Googleフォームを活用した一般区民からの意見収集 他

※アンケートの内容（例）

【計画書の「5年後に向けてみんなと一緒にできること」を見ながら】

- 第7次大田区地域福祉活動計画をどこで知りましたか？
- これならできそうだと思う「○○だからこそできること」はどれですか？
- これはやるのが難しそうだと思う「○○だからこそできること」はどれですか？
- 5年後の地域の姿に向けて「**あなただからこそできること**」は何ですか
（自由記述）
- 属性（・年代　・性別　・居住地区　・所属団体等）

(3) 評価案の取りまとめ

(1)(2)の結果をふまえ、**事務局にて評価指標や評価項目などを整理**します。

<想定される評価指標や評価項目の例>

- ・参加者の増減
- ・活動の拡大縮小
- ・新規の活動につながったかどうか
- ・「だからこそできること」の達成数 他

(4) 大田区地域福祉活動計画推進委員会での 評価案の確認と評価

(令和6年度)

委員会にて評価指標や評価項目案を確認し、**評価の方向性を決定**します。

(令和7年度～)

令和6年度に設定した評価の方向性に基づいた**評価を委員会にて行い、計画の認知度や進行度合の確認**、更なる取組が必要な部分についての協議などを実施します。

2. 令和6年度の計画進行管理の流れ

(5月)委員会開催

```
graph TD; A["(5月)委員会開催"] --> B["(6月~1月)各種アンケート実施"]; B --> C["(7月)住民懇談会開催"]; C --> D["(2月)委員会開催 (評価指標の決定)"];
```

(6月~1月)各種アンケート実施

(7月)住民懇談会開催

(2月)委員会開催 (評価指標の決定)

3. 令和7年度からの計画進行の流れ

01

(5月) 委員会
開催 (令和6年
度の評価実施と
進行管理)

02

(6月～1月)
各種アンケート
実施

03

(7月)住民懇談
会開催

04

(2月) 委員会
開催 (令和7年
度の進捗状況確
認)